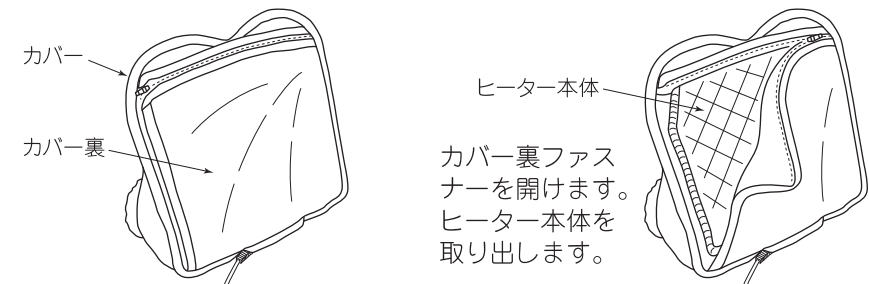


お手入れのしかた

1. カバー裏にあるファスナーを開け、ヒーター本体を取り出します。

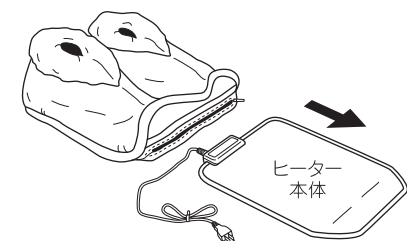


2. カバーを洗います。

■カバーは取り外して洗うことができます。

- 取り外しかた
カバー前部のファスナーを開け、ヒーター本体を取り出す。

注意
ヒーター本体は水洗いしないでください。



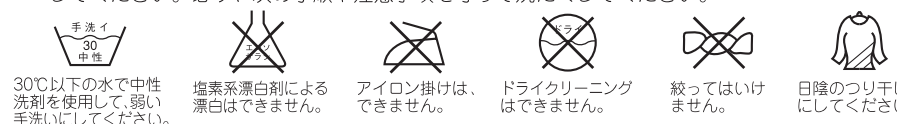
■カバーの洗いかた

- 30℃以下のぬるま湯に洗たく用中性洗剤を使用します。
●入浴剤の入ったお湯は使用しないでください。
- 洗たくを行い、洗剤が残らないように充分すすぎます。
- 風通しの良い場所で自然乾燥させます。

注意
カバーが完全に乾かないうちにヒーター本体をセットしないでください。故障の原因となります。

■ドライクリーニングはできません。

- このカバーは、手洗い(押し洗い)ができます。シーズンの終りや、汚れがひどい場合に洗たくしてください。必ず、次の手順や注意事項を守って洗たくしてください。



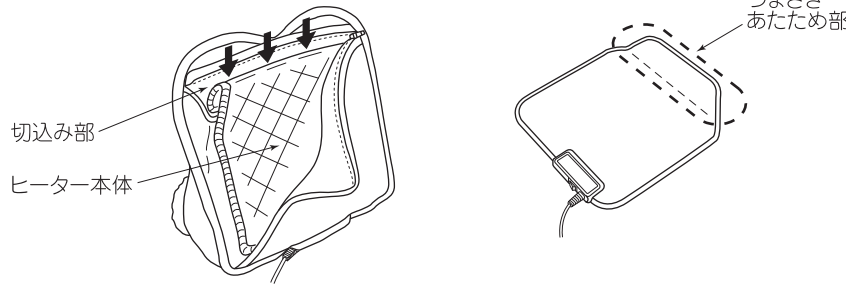
ヒーター本体はドライクリーニングや、水で丸洗いはできませんので注意してください。

- お手入れは必ずプラグをコンセントからはずし、ヒーター本体が乾かしてから行ってください。
- ヒーター本体の表面のほこりは、掃除機で取り除いてください。
- ヒーター本体の表面の汚れは、中性洗剤(食器用)をつぶせ、布にふくませ、ふきとってください。
- ふきとったあとは、日陰で充分乾かしてからお使いください。
- しょう油、ソース等のシミに関しては、柔かい紙が布で吸いとり、中性洗剤を入れたぬるま湯に浸した布を固くしぼって拭きとります。
- ミルク、ヨーグルト等のシミに関しては、布を湯でしぼらせて軽くこすり取ります。
- 溶剤(シンナー等)での汚れの除去は絶対おやめください。

△ご注意



3. ヒーター本体にカバーをセットします。

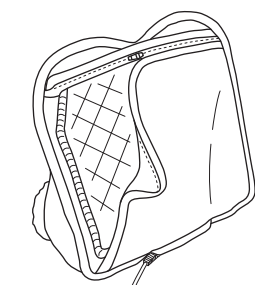


- ヒーター本体の電源コードをカバーに通してください。
- ヒーター本体のつまさきあため部を少し折りまげてカバーの切込み部に入れてください。

注意
ヒーター本体がしわにならないように、きっちりとカバーをセットしてください。

4. ファスナーをしめます。

カバー裏のファスナーを閉めます。



知っておいていただきたいこと

低温やけどについてのご注意

- 普通のやけどは、火や熱湯などの高温なものに皮ふが触れて起こるのですが、40~60℃と比較的低い温度においても皮ふの同じところを長時間暖めると、赤い斑点や水ぶくれができることがあります。これが低温やけどです。
- 特に次のような方が使用される場合は、使用状態に異常がないか、常に周囲の方が十分に注意してあげてください。
 - お子様、お年寄り、ご病人、自分で温度調節のできない方、皮ふの弱い方。
 - 睡眠薬、ねむ気をさそうかぜ薬を使用されたとき。
 - 深酒や疲労のはげしいとき。
- 万一、使用されていて、低温やけどをしたときは、直ちに専門医の診断を受けてください。

電源コードなどの取扱いについてのご注意

- 電源プラグを抜くときは必ずプラグ部を持って抜いてください。電源コードは傷みやすく、傷んだまま使用されると、感電・ショート・発火や焼損などの事故原因になります。
- 差し込み口がゆるんでいたり、湿気の多い場所のコンセントは使用しないでください。また、長期間コンセントに電源プラグを差し込んだままにしないでください。過熱したり、発火の原因となることがあります。

本体についてのご注意

- お使いははじめのときは少しにおうことがありますが、ご使用にともない消えます。
- ヒーター本体の表面温度は、サーモスタットの働きであつくなったり、ぬるくなったりをくり返します。室温が高いときには、サーモスタットが作動して、ぬるいと感じるときがありますが、故障ではありません。

ご使用場所について

- 新しい畳の上でお使いになると、足温器本体の下の畳が変色することがあります。これは、青畳が直射日光で変色するのと同じ現象です。
 - 下記のような場所でご使用になる場合には、熱により変色、変形する場合がありますので、足温器本体の下に、お手持ちの毛布や毛足の長いカーペットなどを敷いてください。
 - 熱に弱い敷物(材質がポリプロピレン、アクリルなどのカーペット)の上。
 - ビーターの上。
 - 寄せ木床など、塗装した床面の上。
 - エンビ製クッションフロアの上。
 - ビニールシートなど、プラスチックシート貼りの床面の上。
 - 畳の上。
 - イスや机など重いものは載せないこと。発熱体のため故障や事故の原因となります。
- ヒーター本体や電源スイッチについて**
- ヒーター本体や電源スイッチ部に水やお茶などをこぼさないようご注意ください。万一こぼしたときは、過熱の恐れがありますので、直ちに使用を中止し、販売店の点検を受けてください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- 保証書は別途添付されています。保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みのと大切に保管してください。
- 保証期間：お買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼される時

- 保証期間中は保証書の記載内容により、無料修理いたします。商品に保証書を添えて内部機構をさわらずにお買い上げの販売店にご持参ください。
- 保証期間が過ぎているときはお買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- 補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、保証書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用の電気足温器の点検を!

- ご使用の際このようなことありませんか?
- スイッチを入れても、ときどき暖まらないときがある。
 - コードを動かすと通電したりしなかったりする。
 - プラグ・コードなどが異常に熱い。
 - その他の異常、故障がある。
- このような症状の時は、故障や事故防止のため、スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。



家庭用

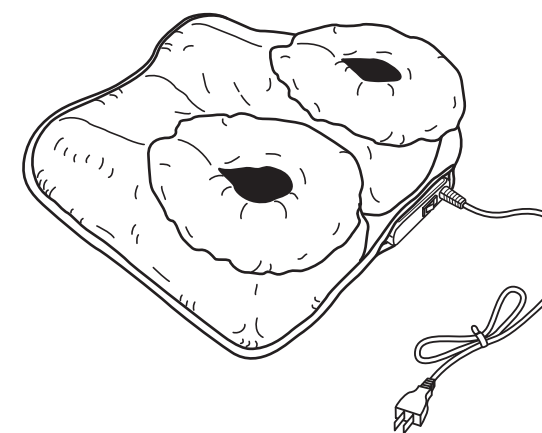
電気足温器

KDF-4031

取扱説明書 (保証書 別途添付)

目次

- 安全上のご注意・・・1~2
- 各部のなまえ・・・3
- 仕様・・・3
- 正しい使いかた・・・4
- お客様の個人情報のお取り扱いについて・・・5
- お客様相談窓口・・・5
- お手入れのしかた・・・6~7
- 保管のしかた・・・7
- 知っておいていただきたいこと・・・8
- アフターサービスについて・・・9



このたびは、コイズミ電気足温器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。なお、保証書は別途添付されています。お読みになられたあとも、保証書とともにお使いになる方がいつでも見られるところに大切に保管してください。

小泉成器株式会社

安全上のご注意

*ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
 *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を「危険」「警告」「注意」の3つに区分しています。いずれも安全に関する内容ですので、必ず守ってください。

表示と意味は次のようになっています。

危険	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う危険性がきわめて高いもの
警告	誤った取扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
注意	誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり物的損害の可能性のあるもの

絵表示の例

	は、してはいけません 「禁止」の内容です		一般的な禁止		分解禁止		水ぬれ禁止
	は、必ず実行していただく 「強制」の内容です		必ず行う		電源プラグを抜く		

*お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

危険

! ●低温やけどや脱水症状をおこすおそれあり。一定時間ごとに足を動かすなど、注意して使用する。次のような方がお使いのときは、特に注意する。

- 乳幼児・自分で温度調節のできない方・皮膚感覚の弱い方
- お子様・お年寄り・ご病人
- ねむけをさそう薬(睡眠薬・かぜ薬など)を服用された方
- 深酒をされた方・疲労の激しい方

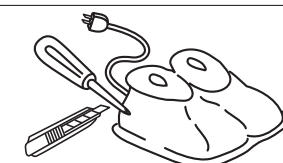
ときどき足を動かすなど使用状態に異常がないか、常に周囲の方が注意してください。

40℃～60℃の比較的低い温度でも、皮膚の同じところを長時間暖めると、赤い斑点や水ぶくれができることがあります。これが低温やけどです。

※万一、低温やけどをされたときは、ただちに専門医の診断を受けてください。

警告

! 改造はしない。また修理技術者以外の方は、分解したり修理を行わない。火災・感電・けがの原因となります。修理はお買上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



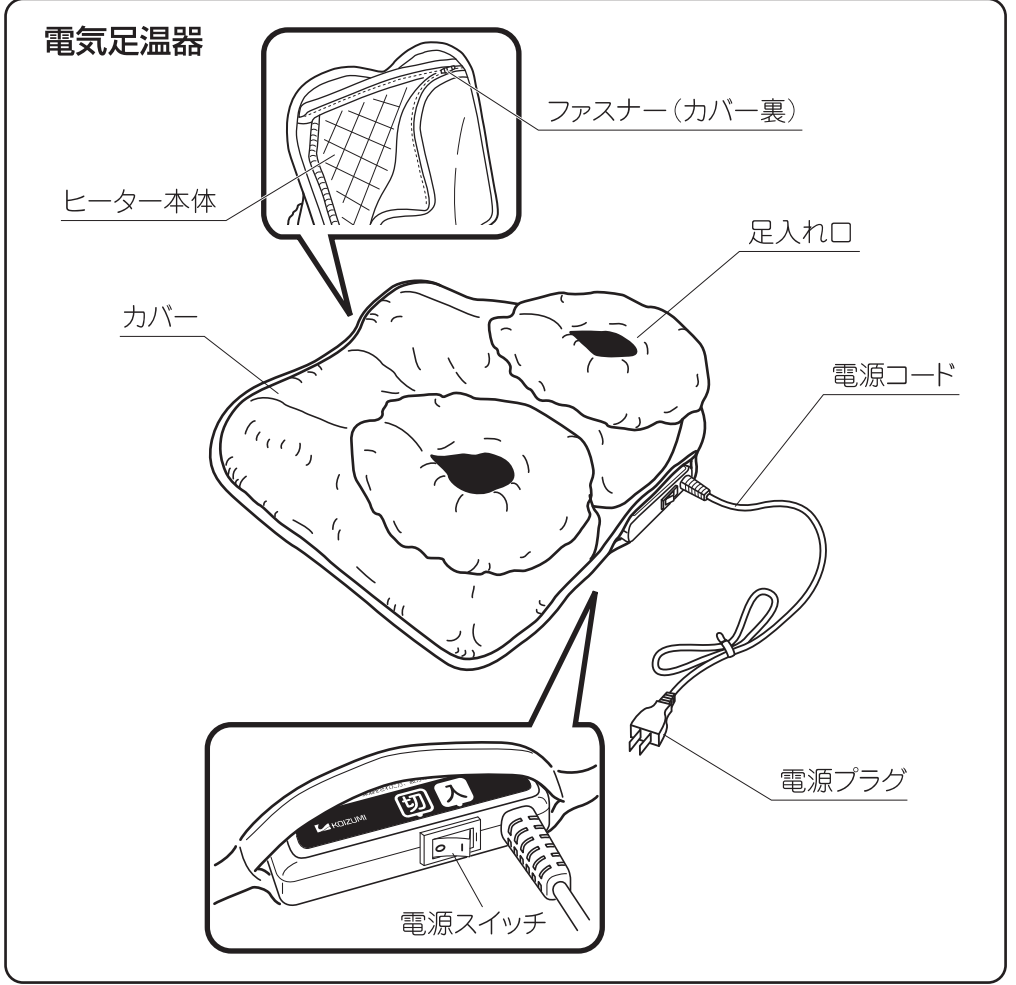
①

!	電源プラグは、コンセントの奥までしっかり差し込む 感電・ショート・発煙・発火のおそれがあります。	!	電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引張ったり、ねじったり、たばねたり、高温部に近づけたり、コードを持って運んだりしない また、重い物を載せたり、はさみ込んだりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。
!	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差込みがゆるいときは使用しない 感電・ショート・発火の原因となります。	!	交流100V以外では使用しない 船舶などの直流電源や200V電源で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

!	電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く 感電やショートして発火することがあります。	!	使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜く けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因となります。
!	犬や猫などのペットの暖房用には使用しないこと 本体やコードを傷め、火災の原因となります。	!	ななめに使用しない 故障の原因となります。
!	水をかけない 故障の原因となります。	!	落としたり、踏みつけたりしない 故障の原因となります。
!	他の暖房器具と併用しない また、ふとんなど保温性のよいものをかぶせない 故障や発熱による事故の原因となります。	!	発熱体を傷めない ヒーター本体にピンや針を突き刺さない。刃物で傷つけない。硬く重いものを載せない。発熱体を傷め、火災・感電の原因となります。
!	あんかの代用や他の用途に使わない 故障や事故の原因となります。		

②

各部のなまえ



③

仕様

定 格	交流100V-22W 50/60Hz共用
カバー表面材質	ポリエステル100%
ヒーター本体表面材質	ポリエステル100%
寸 法	たて340mm×よこ340mm×高さ140mm
電 源 コ ー ド	約1.5m ビニルキャブタイヤコード
製 品 質 量	約465g
表 面 温 度	約44℃

●表面温度：室温20℃で畳上に足温器を一枚広げにし、3kg荷重を加えた状態での値です。

正しい使いかた

- 電源プラグを家庭用コンセント(交流100V)に根元まで確実に差し込む。**
 - ぬれた手で取り扱わないでください。感電する恐れがあります。
- 電源スイッチを「入」にする。**
 - 室温が高い時は暖かくないと感じることがありますが故障ではありません。
 - 全体が暖まるまで多少時間がかかります。
- 使用後はスイッチを「切」にし電源プラグを抜く。**
 - コンセントから抜くときはコードを引っ張らずに必ず電源プラグを持って抜いてください。
 - 外出時などには電源プラグが抜いてあることを確認してください。

④

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合及び法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行ないません。

〈利用目的〉
 お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせ及び修理対応のみを目的として使用させていただきます。
 尚、この目的のために小泉成器株式会社及び関係会社で上記個人情報を利用することがあります。
 〈業務委託の場合〉
 上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について	
お客様相談窓口	■IP電話などからご利用いただけない場合 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432
修理に関するお問い合わせ	
東日本修理センター	■IP電話などからご利用いただけない場合 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL. 048 (718) 3340 FAX. 048 (718) 3350
西日本修理センター	■IP電話などからご利用いただけない場合 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3145 FAX. 06 (6613) 3196
部品に関するお問い合わせ	
部品センター	■IP電話などからご利用いただけない場合 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL. 06 (6613) 3211 FAX. 06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
 TEL. 06 (6262) 3561 FAX. 06 (6268) 1432

受付時間：平日9:00～17:30
 (土・日・祝日・夏季休暇・年末年始を除く)

2013年6月現在(所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

⑤